

令和元年 8 月 13 日

阿波踊り「ねたきりになら連」に参加しました

「ねたきりになら連」は平成5年から続いています。徳島の阿波踊りを車いすの方が乗ったままで踊ります。観光客が階段席から見守る演舞場で行います。「踊る阿呆に観る阿呆、同じ阿保なら踊らにゃそんそん」など「ねたきりになら連」掛け声の一つに「watch me」があります。これは別府車いすマラソン大会と同じで、「障害者もその身を外界から隠すのではなく、社会の構成員の一人として見てもらう、他の人が目を伏せるのであれば、「watch me」と問いかけているのです。

三重県からは我々の他に、海女さんも属する鳥羽地区の方々が参加していました。

車で行き、途中淡路島で下車。

淡路島は「古事記」にて最初にできた国土と記されています。渥美清のシリーズ映画「寅さん」の口上で「物の始まりが1ならば、国の始まりが大和の国、島の始まりが淡路島。泥棒の始まりが石川の五右衛門」と淡路島が出てきます。

淡路島ができる前に竿の先からしずくが落ちてできたのが「おのころ島」。巨大な鳥居が立っています。



元祖日本の神様夫婦「イザナギ、イザナミ」が祭られている伊弉諾神宮があります。「古事記」にて死後は「淡海の多賀」に祭られていると記しています。「淡海」を「淡路」と解釈し、設立されたのが兵庫県淡路市多賀にある伊弉諾神宮。「淡海」を「おうみ」すなわち「近江」と解釈したのが滋賀県犬上郡多賀町大字多賀の「多賀大社」。



淡路島はタマネギの名産地。いたるところで販売しています。

「ねたきりになら連」。あわぎんホールで準備中



市役所前演舞場へ移動中



市役所前演舞場に到着



阿波踊りの演舞場は何か所かあります。「ねたきにりなら連」は毎回、市役所前演舞場に出演しています。また、鳴り物等の関係で有名連「ゑびす連」のサポートを受けて踊っています。



翌日は帰路途中、鳴門市にある大塚国際美術館へ寄りました。この美術館の作品数は膨大ですが、すべて「偽物」。しかし入場料は日本で一番高額。



大塚国際美術館見学は予想以上時間がかかり、その時来ていた台風と競争しながら、雲を追い抜いたり、抜かされたりして帰りました。

帰路の予定は、讃岐でうどんを食べ、倉敷の美観地区、大原美術館を見学でしたが、台風で変更しました。金比羅さん参りルート、瀬戸内海直島ルートも考えていました。

今年度の阿波踊りは例年どおり 8 月 12 日から 15 日の 4 日間の予定でしたが台風で 12・13 日のみ開催でした。多くの関係者は残念だったでしょうが、「ねたきりになら連」は予定通り 13 日の演舞を終えました。